

三次郷心会 会員名簿の配布について

10月に、制作を進めてまいりました三次郷心会名簿を、会員の皆様のお手元にお届けします。個人情報でもありますので、名簿の巻頭に注意事項等を記載しておりますので、一読ください。同名簿を活用いただき、皆様方のお役に立てれば幸いです。

新型「マツダ デミオ」が「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞



日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催する「2014-15 日本カー・オブ・ザ・イヤー」の最終選考結果が10月13日に発表され、新型「マツダ デミオ(海外名:Mazda2)」が、「2014-15 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。

今年の「日本カー・オブ・ザ・イヤー」の選考対象車は、2013年11月1日から2014年9月30日までに発表または発売され、年間500台以上の販売台数が見込まれている全ての乗用車です。マツダ車による同賞受賞は、2012年の「マツダ CX-5」以来、2年ぶり5回目となります。



マツダの小飼 雅道 代表取締役社長兼CEOは、「この賞を励みに、マツダは今後もお客さまの人生を輝かせることのできるクルマづくりを追求し、お客さまに選ばれ続けるオンリーワンのブランドになることを目指してまいります」と述べました。

日本カー・オブ・ザ・イヤーとは

自動車情報を提供する自動車誌やWEB、一般誌、放送等の36のメディアで組織される日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催して、毎年その年に発売された新車の中から、「その年を代表するクルマ」を選出するもの。選出にあたっては、実行委員会から委託された60名の選考委員が、1次投票で10ベストを選出し、2次投票の最終投票では、その10車の中から各選考委員は、与えられた25点の持ち点を5車に配点する。内1車には必ず10点を配点。得点の最高点獲得車がイヤーカーとして選出される。

現在の日本カー・オブ・ザ・イヤーの実行委員長は(株)交通タイムス社(誌名:カートップ)の鈴木利治氏。選考委員は、実行委員会を構成する各メディアに寄稿している評論家、ジャーナリストが中心となっている。

同賞は1980年に始まり、マツダの受賞は、1980年ファミリア、1982年カペラ、2005年ロードスター、2012年CX-5で、今回で5回目の受賞となる。

「SKYACTIV-D」搭載車、国内販売累計10万台達成

—「走る喜び」と優れた環境性能の両立で、急拡大する国内ディーゼル乗用車市場をけん引—

マツダ(株)(以下、マツダ)は、本日、「SKYACTIV 技術」*1のディーゼルエンジン「SKYACTIV-D」搭載車の国内販売台数が、2012年2月の「マツダ CX-5」導入以降2年7か月で、累計100,325台*2となり、10万台を達成したことを発表しました。「SKYACTIV-D」は、乗用車用量産ディーゼルエンジンとして世界一*3の低圧縮比(14.0*4)により、



- 当社の従来のディーゼルエンジンと比較して約20%の燃費改善
 - 低速から高速までスムーズでリニアなレスポンスと、低速域の大幅なトルク向上の実現
 - 高価なNOx後処理装置なしで、グローバルにおける排出ガス規制をクリア
- といった特長を持つ、新世代クリーンディーゼルエンジンです。

「CX-5」発売以降、2012年11月の新型「アテンザ」、2014年1月の新型「アクセラ」の導入もあって、国内のディーゼル乗用車市場は2011年の約9,000台から、2013年の約75,000台へと急拡大しており、2013年にはその6割にあたる約45,000台が「SKYACTIV-D」搭載車となっています。

マツダは、小型化した「SKYACTIV-D 1.5」を今秋発売予定のコンパクトカー、新型「マツダ デミオ」に搭載。今後も、「SKYACTIV-D」の更なる普及によって国内ディーゼル乗用車市場をけん引していくとともに、走る喜びと優れた環境性能を両立したクルマづくりに努めてまいります。

三次郷心会事務局からのお知らせ

1、自動車誌「カーグラフィック」誌 渡辺編集長による講演会 および交流会を開催

三次郷心会では、11月25日(火)、会員相互の交流を深めて頂くことを目的に講演会および交流会を実施します。

講演会の講師は、クルマ雑誌のオピニオンリーダーである「カーグラフィック」誌の渡辺慎太郎編集長。同氏は、世界中のクルマメーカーのトップへの取材や新車などの試乗のため、まさに世界中を駆け回っておられます。

クルマにまつわるお話をエピソードを交えながら講演いただきま
入場は無料ですので、お誘い合わせの上、ご参加ください。
同講演会、交流会の申し込みは別紙を参照ください。

日時 2014年11月25日(火) 17:00-18:00

会場 グランラセーレ三次

三次市十日市南 1-5-5

電話 :

0824-62-1234

備考

- ・なお、引き続き交流会も開催します。是非ご参加ください。
- ・申し込みは、同封の申込用紙をお願いします。
- ・お問い合わせは、三次郷心会 西までお願いします。



す。



2、新入会員

9月、10月に各1件のご入会がありました。下記のとおりです。

入会月	会社名	役職名	会員名
・9月入会	(株)シナジーテクニカ	代表取締役	神田 将文 様
・10月入会	(株)三次ケーブルビジョン	代表取締役社長	田坂 高遠 様

3、新会員様ご紹介のお願い

三次郷心会では郷心会活動の一層の前進を目指し、新会員を募集しております。広島県産品愛用運動を、会員の皆様と共に推進していただける新会員を、是非ご勧誘・ご紹介ください。ご紹介いただける場合、気軽に三次郷心会事務局までご連絡ください。

郷心会のスローガン

広めよう郷心会の和

- ・郷心会の活動にもっとみなさん参加しよう。
- ・会員同士の繋がりをもっと強化していこう。
- ・郷心会の活動をもっと地域に発信しよう

4、11月-12月の予定

- ・11月7日(金) 三次・庄原郷心会合同見学会 伯方塩業(株) 大三島工場見学 他
- ・11月25日(火) 三次郷心会役員会、講演会、交流会グランラセーレ三次

5、三次郷心会 へご用命ください

郷心会では、『会員お役立ち活動』としまして、会員様の事業(商品・製品・サービス・活動)を広報する活動を致しております。郷心会は、三次をはじめ、広島、庄原、東広島等13の郷心会に約4,000弱の会員が入会しておられます。そこで会員に向け、郷心会広報紙に“自社の商品の記事を書いてほしい”、“チラシを会員に配ってほしい”などのご要望がございましたら、お気軽にお申し出ください。お待ちしております。

*郷心会(三次、庄原、広島、安芸、大竹、東広島、三原、呉、尾道、因島、竹原、福山、府中)

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いします。

三次郷心会 事務局 西まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内

TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064 e-mail: nishi.t@mazda.co.jp